

# 多くの <sup>お お</sup>人に <sup>ひと</sup> バプテスマを ほどこす アルマ



アビナダイは よげんしゃでした。  
アビナダイは、人人に <sup>ひと ひと</sup> イエス・キリストを  
しんじて わるいことを やめるように <sup>おし</sup> 教え  
ました。ノアという <sup>な まえ</sup> 名前の わるい <sup>おう</sup> 王さまは、  
アビナダイに はらを <sup>た</sup> 立てました。ノアは、くい  
あらためたくなかったのです。



アルマという <sup>な まえ</sup> 名前の <sup>ひと</sup> 人が、アビナ  
ダイの <sup>い</sup> 言うことを しんじました。  
アルマは おこった <sup>おう</sup> 王さまから に  
げだして、かくれました。自分が お  
かした <sup>ま</sup> 間ちがいについて かなしく  
思った アルマは、アビナダイが <sup>おし</sup> 教  
えたとおりに、くいあらためました。